

パソコンで手早く文字入力ができる中学生は2~4割

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

◆ポイント◆

- ・中学生のスマートフォン所有率は関東が約8割。近畿が約7割。それ以外の地域は約5割。
- ・スマホ・ケータイで手早く文字入力ができる中学生は6~8割、パソコンは2~4割。

1. 調査結果：

1-1. 端末所有状況 —中学生のスマホ所有率は地域差がみられる—

小中学生が専用しているスマホ・ケータイの所有率について、全国の小中学生の保護者に伺い、地域別に集計をしました。その結果、全国的に中学生になるとスマートフォン所有率は一気に拡大し、関東が約8割。近畿が約7割。北海道・東北、中部・東海、中国・四国・九州は約5割と地域差がみられました。

(※訪問調査という特性上、十分なサンプル数を確保するため地域のくくりが大きくなっております。)

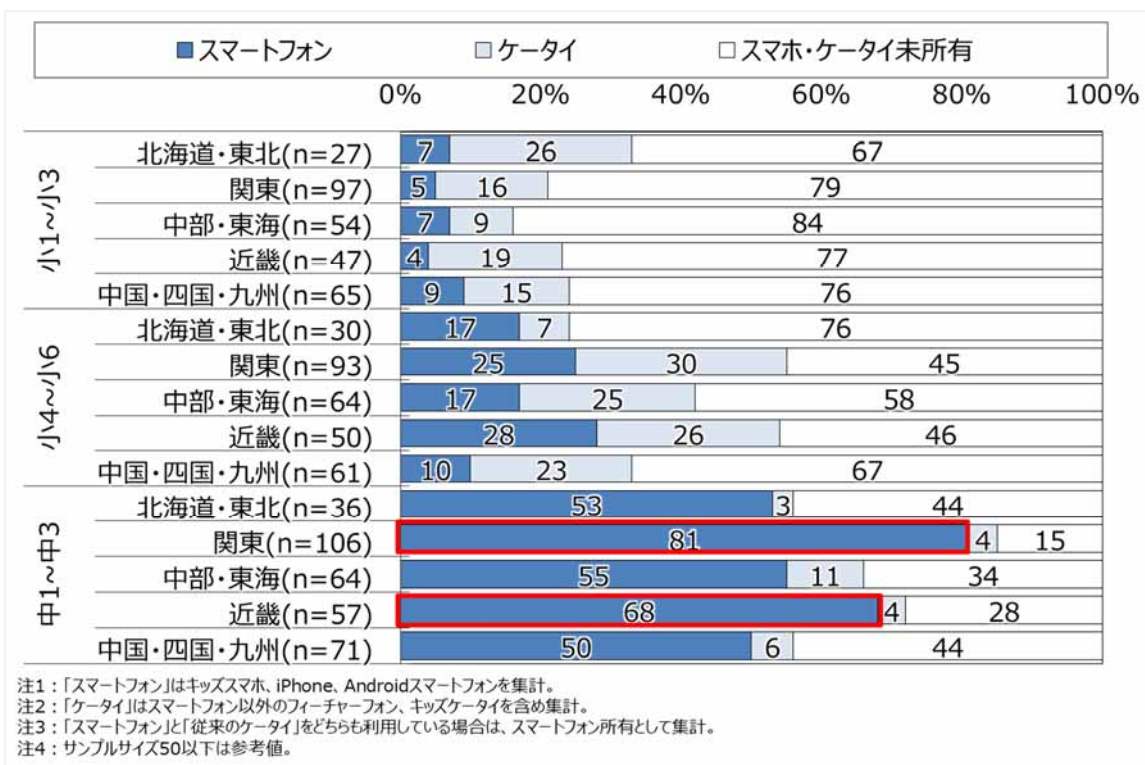


図1. スマホ・ケータイ所有率(地域・学年別)
 [調査対象：全国の小中学生の保護者が回答]

1-2. スマホ・ケータイやパソコンでの文字入力

—スマホ・ケータイで手早く文字入力ができる中学生は6~8割、パソコンは2~4割—

小中学生はスマホ・ケータイやパソコンでどの程度文字入力ができるのでしょうか。全国の小中学生の保護者に、お子さまが10秒間に5文字以上入力できるかを伺いました。

その結果、中学生ではスマホ・ケータイで10秒間に5文字以上入力できると保護者が答えた割合は6~8割、一方でパソコンは2~4割となりました。

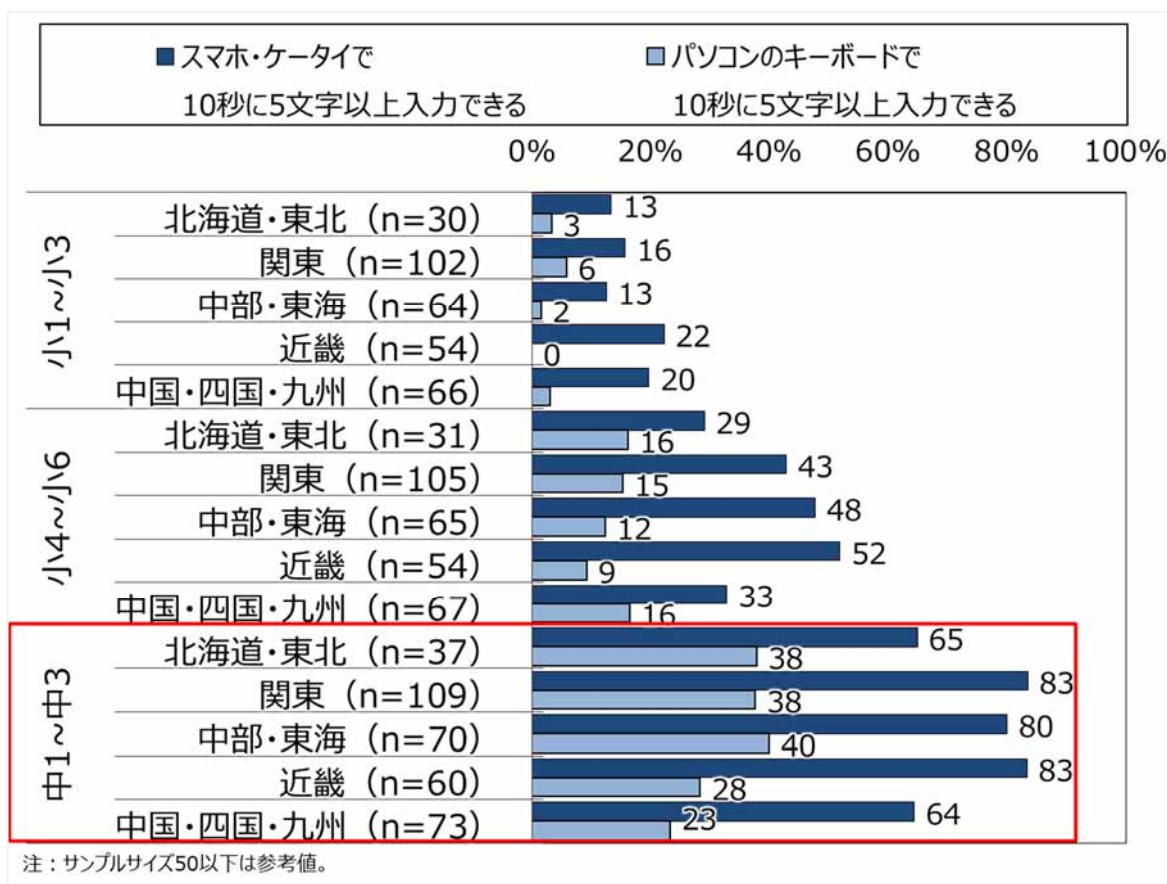


図 2. 文字入力を手早くできる割合(地域・学年別)
[調査対象：全国の小中学生の保護者が回答]

モバイル社会研究所では、小中学生の方が安心・安全にスマホを利用していただくためのガイドや、親子間のルール作りのポイント、スマホ・ケータイ安全教室のご案内を下記の URL で公開しています。ぜひご家庭・学校でご活用下さい。 <<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/safety/>>

2. 調査概要 —小中学生 ICT 利用調査 2019—

調査方法	訪問留置調査
調査対象	全国在住の小中学生の子どもとその保護者
有効回答数	1,000 組の親子
サンプリング	層化二段抽出[クォータサンプリング法(都市規模別性年代)] 7~15歳の都市規模別人口構成比に応じて、町丁目(100地点)を比例配分して抽出し、抽出された町丁目において、7~9歳、10~12歳、13~15歳の都市規模別性年代人口構成比に応じて個人を割り当て、該当者をランダムウォーク法で抽出
調査時期	2019年9月

■ 問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
株式会社 NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com